

栗原市内に
お住いの
皆さまへ

デイサービス ケアスタ中町 “体験利用のご案内”



生活リハビリとは？

ご自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返し出すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。

テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者が現在できることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていたり、選択プログラムもご用意しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。

さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。

☑様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムもご用意しております。



対象者 ■ 要介護認定を受けている方

■ これから要介護認定を受ける予定の方

※認定を受けている方は、まず担当のケアマネジャーにご相談ください。

料 金 ■ 食事代：600円

SNSフォローキャンペーン・体験利用の食事代が無料!!

ご本人・ご家族・ケアマネジャー様のいずれかの方が、弊社SNSをフォローしていただくと、体験利用の食事代が無料になります。



「なじみの作業記憶」を活用

認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったら、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。

一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていることとあってありますよね。認知症の人は、そうした「体で覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずにすみずみまで活用できます。

20種類以上の選択プログラム

パン作り、バイキング、コーヒー焙煎、ノルディックウオーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作の訓練を楽しみながら行う事ができます。



体験利用のご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！

☎0228-24-8456



twitter
carestanakamach



Facebook
caresta.day



instagram
care.sta

「面倒くさい」は認知症への第一歩？

人が老化を意識するきっかけに、もの忘れがあります。それは「面倒くさい」という意識が関係しているという説があります。例えば、自動車のカギをどこに置いたか思い出すには、自動車を降りてからの記憶を芋づる式にたどらなくてはなりません。それが面倒くさいから「忘れた」となります。

この「面倒くさい」から始まり、「顔は覚えているが、名前を忘れた」「親友なのに、咄嗟に名前が出てこない」となるのも、思い当たる節がある人もいるかもしれません。怖いのは、この「面倒くさい」が認知症につながっているかもしれないということです。面倒、面倒とって会話や外出も減れば脳循環もますます低下し、脳にゴミがたまってきて、それが認知症を引き起こします。

ケアスタ中町では出来ることを続けながら新しいことに挑戦することで、認知症を予防したり認知症の進行を遅らせることを目的として、様々な生活プログラムを行っていただいています。

「いつまでも自宅で暮らす」ために、あの頃の自分を取り戻す！



▼セラバンド体操

ゴム製の長いバンドを使った体操を行っています。ゴムの強度が色分けしており、利用者様それぞれの体力に合わせて使用して頂いています。体全体を使うので、少しの時間でも充実感があります。



▼ミシンで雑巾縫い

ミシンで雑巾縫いをしていただいています。ある程度の数ができたら、小学校や公民館へプレゼントします。



▼薪ストーブでご飯炊き

昔は薪を使って生活してたんだというお話を聞き、早速ご用意いたしました。自分で割った薪で炊いたご飯が格別です。



▼料理教室

毎週火曜日と土曜日は料理の日です。肉じゃが、カレー、いなり、はつとなど、何でも作ります。



▼一番人気！パン作り

ご希望があれば、毎日パン作りを行っています。あんぱん・バジルパン・ピザパン・シナモンロールなど、その日の気分に合わせて手作ります。出来上がったらパンはお持ち帰りできます。



デイサービス
ケアスタ中町

〒 989-5145 宮城県栗原市金成中町西裏 1 5 - 4

☎ 0228-24-8456